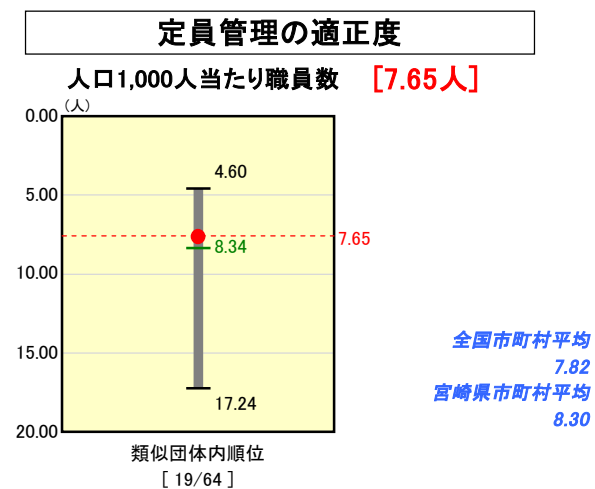
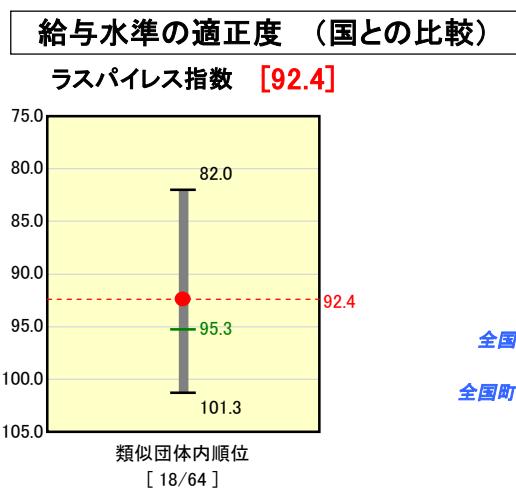
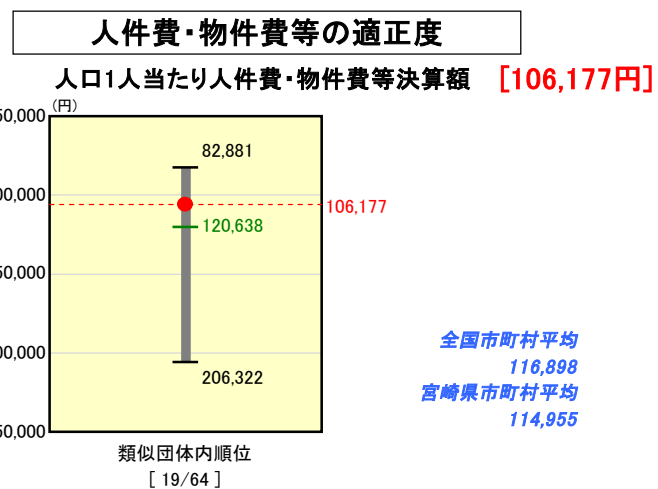
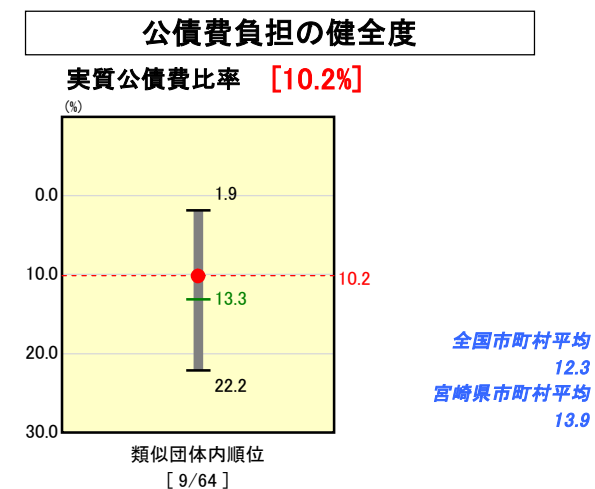
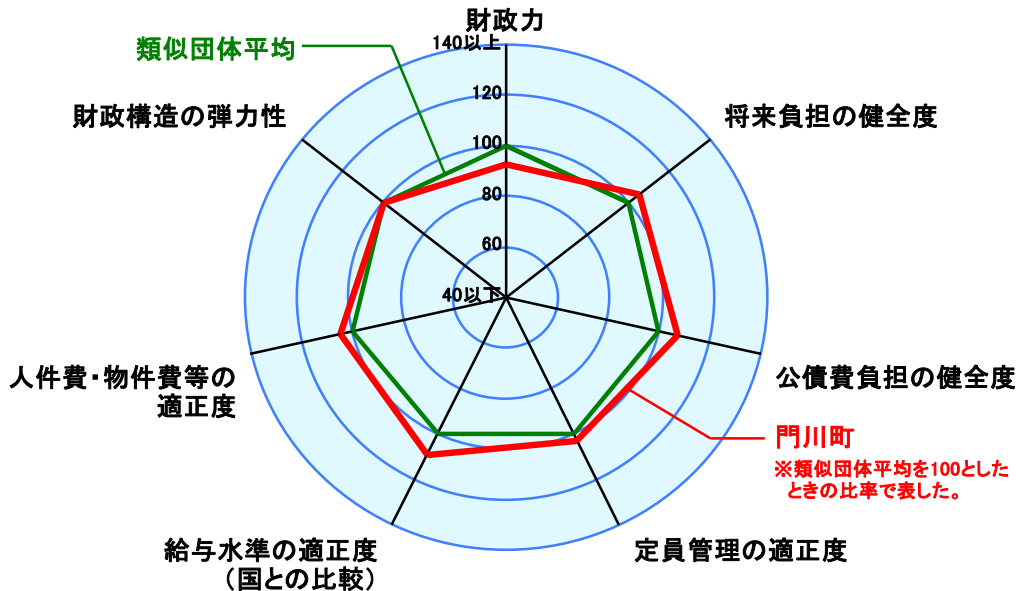
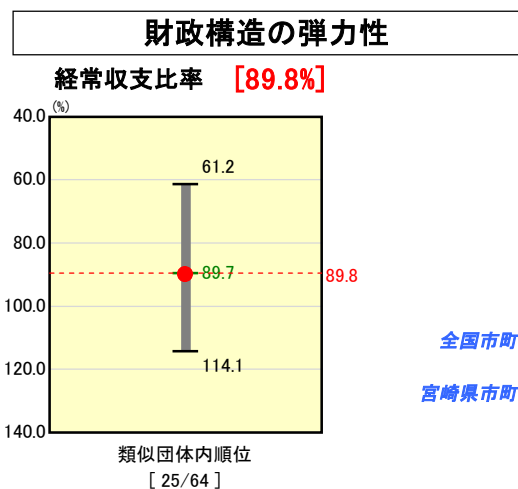
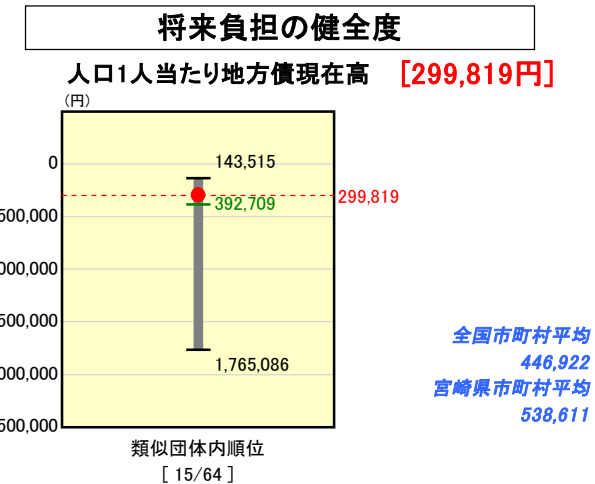
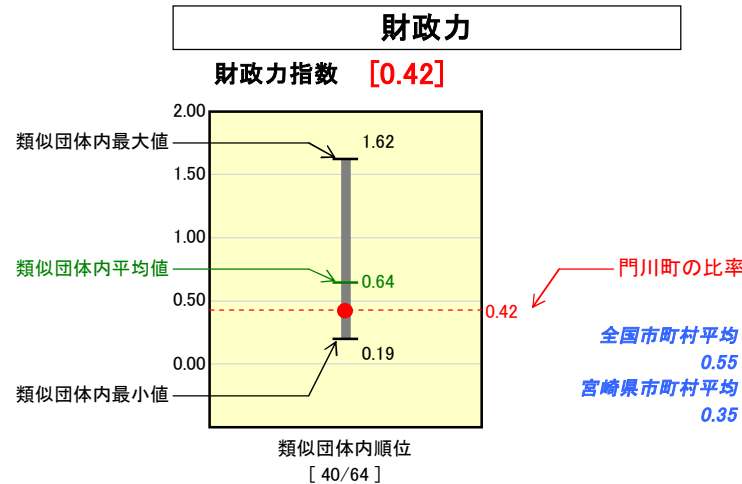


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 宮崎県 門川町

人口	19,348 人(H20.3.31現在)
面積	120.48 km <sup>2</sup>
歳入総額	6,233,977 千円
歳出総額	5,986,413 千円
実質収支	242,064 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**：近年は微増ながら向上しており前年度から0.1増の0.42となっているが、類似団体をかなり下回っており、財政基盤が弱いことがわかる。今後は、税收の徴収率向上など徴収業務の強化に取り組み歳入確保に努め、長期財政計画による起債計画により公債費を圧縮するなど歳出の見直しを図り、さらなる向上を目指していく。

**経常収支比率**：類似団体平均とほぼ同じであるが、前年度比1.5ポイント増加しており、経常一般財源となる地方交付税、臨時財政対策債が減少する中、福祉関係経費の増加により悪化の様相を呈している。人件費の削減などの行財政改革への取り組みを通じて義務的経費の削減に努め現在の水準を維持したい。

**ラスパイレス指数**：類似団体平均から2.9、全国町村平均から0.8下回っており92.4となっている。他地方公共団体との均衡に考慮しつつ、国の公務員制度改革の動向等見極めながら見直しを行い、住民の理解と支持が得られる給与制度と勤務条件の確立を目指す。

**人口1人当たり地方債現在高**：宮崎県内市町村平均、類似団体平均を下回っており、今後ともこの水準を維持していきたいが、今後大型事業(本町都市下水道排水対策事業、栄ヶ丘団地町営住宅建替事業Ⅱ期工事)により上昇の可能性がある。よって、他事業における地方債の発行の抑制等長期財政計画に基づき財政の健全化に努め、類似団体平均を上回らないようにする。

**実質公債費比率**：長期財政計画に基づいた起債計画によりここ数年は減少し、類似団体平均を下回っているが、近年の大型プロジェクト(町営住宅建替事業、中学校改築事業)の償還が始まることを踏まえ、今後とも緊急度、住民ニーズを的確に把握した建設事業及び交付税措置の有利な起債の選択に努め現在の水準を維持する。

**人口1,000人当たり職員数**：過去からの新規採用抑制策により類似団体平均を下回っている。今後、本格化する団塊の世代の定年退職者増加を踏まえ、集中改革プランに基づく定年退職者不補充により、平成24年までに5%程度の削減達成を目指す。